

第一公害プラント株式会社

<注目事業：仮設（移動式）膜ユニット、汚泥減容化装置>



災害などの緊急時の排水処理装置
「仮設（移動式）膜ユニット」



汚泥搬出量を40～60%カットする
「汚泥減容化装置」

<環境ビジネスとしての特徴、取組>

- ・合併処理浄化槽の普及が進み、浄化槽市場の成長とともに、会社も成長を続けてきたが、近年は頭打ちになっていることから、浄化槽に代わるものとして、仮設（移動式）膜ユニット、汚泥減容化装置を開発した。
- ・仮設（移動式）ユニットは、災害時の一時的な排水処理、農業集落排水等の機能強化工事での設置、一時的な排水量の増加への対策施設として開発された。実際に、市町村の災害対応仮設施設や農業集落排水の機能強化工事での仮設施設として、また、食品工場の一時的な排水量の増加への対策施設として利用されている。
- ・汚泥減容化装置は、汚泥処分費が高い施設や工場や余剰汚泥の発生量が多い施設や工場、農業集落排水などの集合排水施設向けに開発された製品である。導入した自治体施設では、汚泥処理費用が6割低減した。
- ・水処理施設では環境負荷低減のための高度処理や省エネなどの課題に加え、施設の長寿命化など、顧客ごとに異なった課題があり、こうした課題に取り組み、最適な解決策を提供することを日常的に行っており、水処理プラントの設計・施工から、導入後の運転・管理までをトータルでサポートする体制と、課題解決ノウハウの蓄積が、顧客ニーズに応じた水処理施設の開発につながっている。
- ・いずれの装置もすべてWebによる監視が可能となっており、データ把握・蓄積を通じ、既存顧客への提案につなげられる。

<会社基本情報>

【設立年】1972年11月

【資本金】4,000万円

【本社所在地】長野県飯田市松尾清水8104

【TEL】 0265-23-1121

HP <http://www.abic-net.co.jp>